



むらさき朝会～感謝の気持ち～

本日7日(木)は、むらさき朝会でした。今月の生活目標は「感謝の気持ちで学校生活をおくろう」です。私の方からは、子供たちに次のような話をしました。

感謝の気持ちというのは「🍷 帯西グリーン」の心です。感謝の科学の第一人者、カリフォルニア大学のロバート・エモンズ教授は言います。「感謝をする人ほど、健康や幸福度へのいい影響が見られる。」それはどういうことかと言うと「①免疫力や痛みにたえる力が高まる ②生きがいを感じやすい ③親切で広い心になる。」という好影響だそうです。そして、子供たちに「学校に『ありがとう』と思うこと」を思い浮かべてもらいました。6年生の子供は「学校がなければ僕たちはこうやって6年間成長することができなかったし4つの心でも成長でき感謝しています。」「学校生活で先生方や委員会のみなさんがしてくれたイベントなどは、ありがたかったです。」「6年生になって平和について学び、戦争で悲しいことがあったんですが、このように学校で勉強できることに感謝したいです。」と答えてくれました。

感謝の気持ちで学校生活をおくるためには、「🍷 帯西グリーン」の心だけではいけません。「🍷 帯西レッド」の心で、学校に遅れて来ないことや、自分の身の回りの整理整頓すること、そして「🍷 帯西グリーン」の心で、人に親切にすることや気持ちの良い挨拶をすること、さらに「🍷 帯西イエロー」の心で、みんなのために働くことや当番・係・委員会などで自分の役割を責任をもって取り組むこと、最後に「🍷 帯西ブルー」の心で、生き物に優しくすることや物事に感動する心など様々な心も求められます。たくさんあって、「自分にはできない」とは思わないでください。実は、感謝の気持ちで生活するためには「ありがとう」と「おかげさま」という2つの言葉が鍵となってきます。この「おかげさま」の意味ですが、「お陰様」と書き、元々は神仏への感謝の意味だったのですが、次第に他人の手助けなどへの感謝の意味に変わってきました。実は、学校も社会もこの「おかげさま」と「ありがとう」で成り立っています。生きていくためには、数えきれないくらいの人のお世話になっています。

皆さんも今日ここに来るまで、朝から暖かい布団にくるまって眠れて、起きて来たらお家の方が用意したご飯を食べることができて、お家の方が買ってくれた洋服を着て登校しました。そして、登校途中には、皆さんの安全を守るために、地域の方々が旗を持って交通指導をしてくださり、学校に来たら先生方が一人一人健康状態をチェックして、授業の準備をしてくださいます。他にもたくさんの「おかげさま」があるかもしれません。たった朝の時間だけでもこれだけの「おかげさま」があるのです。皆さんは決して一人で生きているわけではありません。皆さんのこれからの人生にはもっともっとたくさんのおかげさまがあるのです。これからは、みんなのおかげと思って感謝しましょう。そうすると「誰かの力になろう」と思えてくると思います。「お陰様」の陰は、仏教用語では、「木陰」のことを指します。焼けつくような真夏の太陽の下でも、木陰の下に入ると涼しくなります。この木は、人が涼むために陰を作っているのではないのですが、それでも木に「ありがとう」と感謝する。その心が大切なのです。「おかげさま」と「ありがとう」の意味をもう一度考えて、感謝しながら生きていけると、その人はきっと幸せになれると思います。感謝の気持ちを誰かのための力にしていきましょう!

学校も社会もみんなの「おかげさま」と「ありがとう」で成り立っている

生きていくためには、数えきれないくらいの人のお世話になっている

自分一人で生きているのではない!

みんなの「おかげ」だと感謝